

オールとちぎ通信

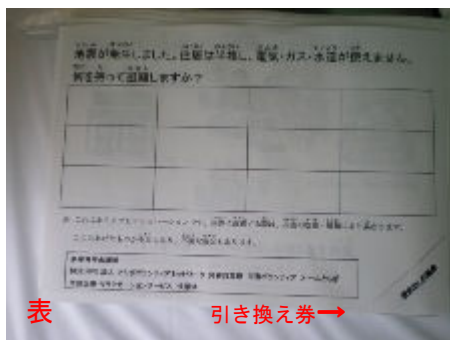
がんばろって! がんばっぺ! IN ちゅうえつ

平成 21 年 3 月 21 日 災害ボランティア オールとちぎ発行 第 141 号 発行者: 災害ボランティア オールとちぎ
〒320-0027 栃木県宇都宮市塙田 2-5-1 共生ビル 3F TEL028-622-0021 E-mail: all_tochigi@yahoo.co.jp

ハロウィン in 多摩センター 2008 に参加してきました

10月25日(土)、26日(日)に多摩市多摩センターに行ってきました。今回は、**多摩青年会議所**主催の炊き出しブース(たま汁:多摩で取れた野菜のみで作ったけんちん汁風)の一角で「防災啓発」をさせていただきました。

この「防災啓発」の内容は、だれでも参加できる「那須っ子防災ゲーム」の発展系「多摩っ子防災ゲーム」です。約5分間で持ち足しグッツを10コ書いてもらいます。(実際の災害の規模や種類によって多少の違いはありますが・・・)これは、快援体の原さんのコーディネートにより実現しました。



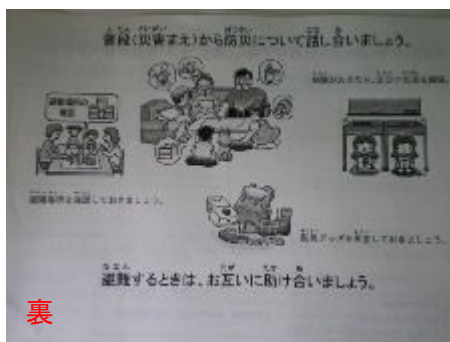
なぜ、「炊き出し」と「防災啓発」が一緒かという回答用紙に、たま汁の引換券がついているからです。

(角に炊き出し引き換え券付き)

25日の朝早く宇都宮を出発し、午前9時に到着。早速、災害をイメージしてもらう写真パネルを掲示しました。10時の開始からたくさんの方がイベントに来ていました。当ブースにもたくさんの方が興味をもってくれました。

用意していた「たま汁」はあっという間になくなりました。(おいしかったから♪)

19時からは原さんと夕飯と共に今後の活動について打合せ。(ご馳走様でした。)



26日も朝早くから準備します。多摩青年会議所のメンバーにも「多摩っ子防災ゲーム」をやっていただきました。メンバーも驚きの回答や珍回答にみんなで盛り上がりました。今日も用意していた





「たま汁」はあっという間になくなりました。(合計で約1,000杯)

18時から多摩青年会議所の打ち上げにも参加。いろいろな防災について話をしました。熱い人が多かったので、こちらでも熱く語りました。今後もいろいろな面で協力していける関係が築けたような気がします。また機会がありましたら、よろしくお願いします。

DRT2008 in 宮城 1日目

11月11日、2日と、宮城県白石市蔵王の山麓にてDRT2008が開催されました。栃木より2名で参加しました。会場のある白石市は、黒澤さんのご実家がある地。先月、サプライズ訪問させていただきました。その白石市に早々に到着。時間があるので白石城を見学。歴史に詳しい君嶋さんの説明を受けながらお城へ。天気も快晴で天守閣からの眺めは素晴らしかった。



するとやはり災害現場で見たことのある顔が・・・DRTに参加する方々も観光のようでした。城を後にし、白石名物の“温麺(うーめん)”で昼食。

その後、会場である「南蔵王協働学舎」さんへ移動 会場には、北海道、宮城、埼玉、東京、栃木、神奈川、長野、新潟、富山、岩手他からの参加者・講師の姿がありました。IVUSAの皆さんやくりこま応援の会の菅原さんも参加。会場は、蔵王の山並みを見渡せるロケーション抜群の場所にありました。

会場に並ぶチェーンソーやエンジンカッターなどなど 災害現場で見てはいたが使ったことのない道具が勢ぞろい！さて講習開始。チェーンソーのレクチャーを受けてからグループに分かれて実演です。

丸太を上から、下から切ったり、チェーンソーの先端だけ使ってでコンパネを薄く切ったり。



その後、エンジンカッターなどの使い方も教わりました。数々の災害現場を経験しているからこそわかる“コツ”や注意点など 四川省の現場でのことや小千谷市塩谷でのことなど。道具の使い方講習だけではなく、災害現場に必要とされる被災者への配慮などの話もありました。夕暮れで1日目の講習終了。





夜は、遥々富山県から来てくれた“ヤマヤ物産”さんによる炊き出しをみなでいただきました。温かな夕食、ありがとうございました。このヤマヤさんは、災害時などの炊き出しに使用する厨房機器の会社です。他にも、簡易シャワーの設備も用意していただきました。



夕食会では、現在、栃木と福島で支援活動を継続している岩手・宮城内陸地震の被災地の状況報告が栃木の君嶋さん、くりこま応援の会の菅原さんよりありました。また、宮城災害救援ボランティアセンターさんやRB(=レスキューバイク)さん、HS神戸の助さんこと吉村さんから中国四川省での活動紹介もありました。

最後に、黒澤さんより阪神淡路大震災から現在に至るまでの災害現場での活動の紹介、そして、公的機関の救援活動が開始されまへには時間がかかること、民間での救援の必要性、そして何よりも、地域での助け合いが災害の被害を最小限に食い止められることなどを話していただきました。蔵王の夜空には満点の星空が広がっていました。澄み渡った夜空の下、夜は更けて行きました。



DRT2008 in 宮城 2日目



DRT二日目の朝もすばらしく晴れ渡りました☀朝からチェーンソーのチェーンのメンテナンスのレクチャー
道具は、いざという時に本領を発揮できないと困ります。常日頃から愛情をかけてないと、いけませんね。
君嶋さんのロープワークも。



ヤマヤさん他みんなで作った炊き出しでおなかを満たし二日目の講習の始まりです。始まる早々に「昼には雨だな・・・」と、宮城の皆さんの話。蔵王の山ににわかには暗雲が流れ込んできていました。雨に降られる前にと講習は、昨日やったことの総仕上げとして会場の使用していない電柱の撤去、U字溝の移動および切断、そして、女性陣全員で行なった角材や丸太をまき用に短く切る作業。女性5名でチェーンソーを使って切り始める。はじめは恐る恐るだったのに慣れてくるとガンガン切ります。山だった木材は、短いまきの山になりました。



途中、U字溝のジャッキアップの説明。山形から夜勤明けに参加してくれた“ジャッキー”さん。油圧式のジャッキの使用注意点(特に下ろす時)や車のジャッキの使用方法などの説明がありました。

4年前の塩谷で子供が亡くなられた倒壊家屋には、多数のジャッキが見つかったそうです。地域の皆さんが車からかき集め、押しつぶされた屋根を押し上げる救出作業を行ないました。地震から2時間の必死の作業。真っ暗な闇の中、助けを求める声を助けるべく動いた地域の皆さん。地域の力、助け合いの形があったからこそこの話。これが都市部では・・・

それぞれの作業が終了し、講習も終了。蔵王の山には、なんと虹がかかっていました。講習は雨に降られずに、無事に終了することが出来ました。

全国各地から参加された皆さん、大変お疲れ様でした。今後、この講習が役立つようなことがないことが一番の理想ですが現実問題として、災害の発生頻度は高い確率にあります。近い将来に起きる災害に備えて、皆さん地元に戻って技術の向上と、地元への地域力向上の働きかけを進めて行きましょう！

その後、参加者の何名かが、くりこま応援の会に“カレーの日”の応援に駆けつけてくれました。

見事な虹が！



「くりこま応援の会ボランティア活動支援金」募集

郵便振替 00360-4-38111 名義:とちぎボランティアネットワーク ※通信欄に「くりこま」と明記してください。